

## 原木取扱量の実績と今後の見込み等に関する国有林材供給先への調査結果

### ○ 業種別聞き取り先数

木材流通業	製材・合板・チップ等木材加工業	その他（素材生産、バイオマス発電等）	計
15	5	4	24

### ○ 国有林との取引形態（重複あり）

委託販売	システム販売	土場活	④立販その他
13	17	2	5

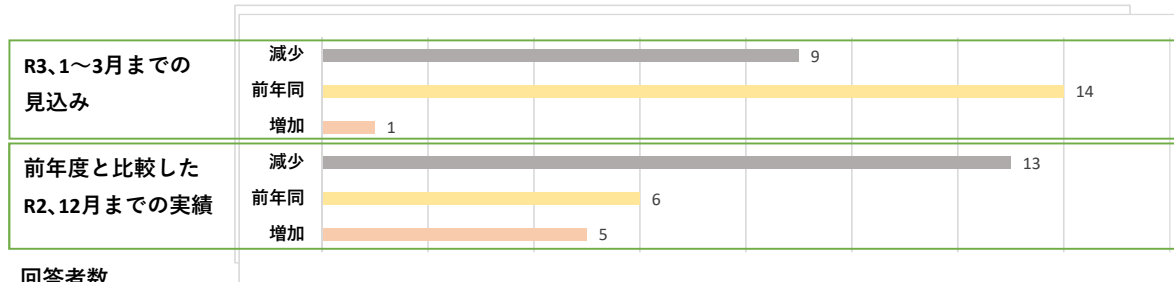
調査期間  
令和2年12月1日～25日

## 1. 令和2年度の実績と見込み

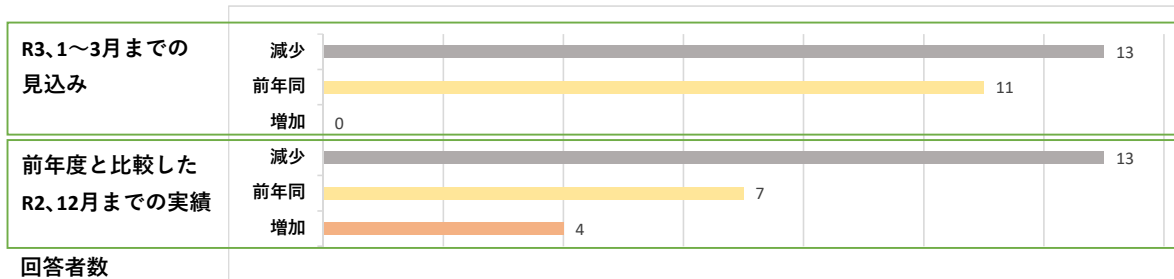
### （1）原木入荷量

・1～3月の原木入荷量は、素材生産が回復しないため前年に比べて減少せざるを得ないと見込む事業者が多い。

#### ① 民有林材・国有林材含む全量



#### ② 民有林からの入荷量



### 主な意見

- <加工業者>
- ・ストックヤードの状況から今以上の積極的な受入はやや抑制する計画。
  - ・民有林からの入荷量が回復しておらず、1～3月期は国有林材が減少するので、全体として減少すると思われる。
  - ・民有林からの素材生産量は前年並みと聞いているがバイオマス発電所の動きでかなり左右されると思われる。
  - ・受注残がある。
  - ・生産事業の最盛期となり入荷量の増加は期待できるが、原木在庫が非常に少ない状況で安定した稼働に不安を感じている。

<流通業者>

- ・低水準で推移していく模様。ないもの高も落ち着くと思われる。
- ・秋以降並材の相場は昨年並みに戻ったものの元木・大径材の需要は弱く積極的に集荷できる状況にない。
- ・10月以降工場の要望が多くなってきたが、全体的に出材が増えてこない。特に県外からの入荷が大幅に減少。
- ・需要は、全体的に増加傾向と思われ、供給不足になる不安がある。
- ・民有林は出材にブレーキをかけた影響が今もなお残っている。
- ・合板用材に価格の上方修正があったとしても、作業計画の変更には時間を要するため、年度内の修正は厳しいのでは？
- ・民有林材生産の最盛期となるが、大手製材所・合板工場の買取り単価が安価の為、パルプ材への出荷となりA～B材は増加していかない。
- ・一般材は春先に材価が下がり採算が合わなくなり立木の仕入れが出来ていない。
- ・民有林生産事業の最盛期となり計画どおりの生産に戻ると予想している。
- ・丸太価格は春頃の価格に戻つつあり、民有林材の出荷も期待できる。
- ・合板用材にも荷動き・価格の戻しが予想され、手持ち立木の皆伐作業に着手予定。
- ・県による補助事業もありアカマツの入荷が予定されている。

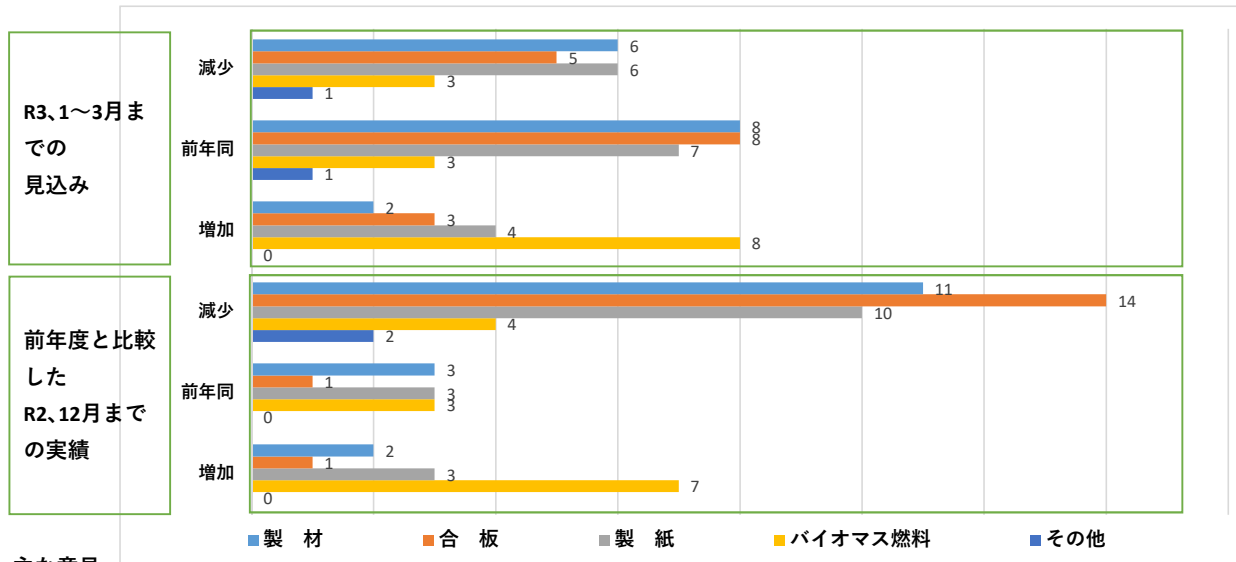
(2) 用途別の原木出荷量

・1～3月の用途別の原木出荷量は、製材・合板・製紙向けは前年と同量が減少、バイオマス燃料向けは増加と見込む流通業者が多い。

用途別原木出荷量の実績と見込み

	前年度と比較したR2、12月までの実績			R3.1～3月の見込み			備考
	増加	前年同	減少	増加	前年同	減少	
製材	2	3	11	2	8	6	
合板	1	1	14	3	8	5	
製紙	3	3	10	4	7	6	
バイオマス燃料	7	3	4	8	3	3	
その他	0	0	2	0	1	1	土木用材・キノコ用オガコ

※各欄の数値は流通業者からの回答数

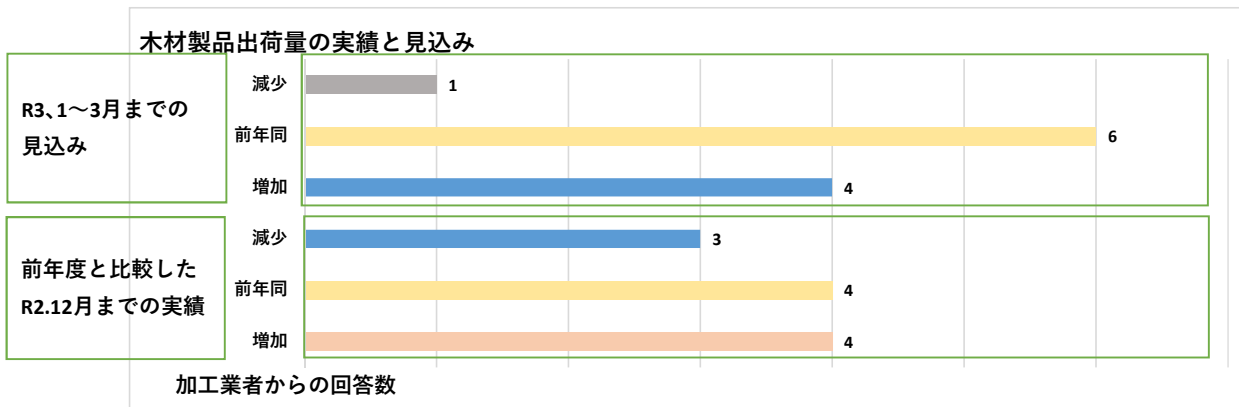


主な意見

- ・小径木～中目材の製材用は、杉桧共に引き合いはあるが全体的には相場も需要も弱く、年明け急激に回復することは考えにくい。
- ・生産量は徐々に回復するも豪雨災害が未だに響いている。
- ・県内外の各工場からの引合いが非常に強い状況だが出材が伸びてこない。
- ・製材工場の冬季用の貯木もままならない状況にあり、今後より引合いが強くなる可能性がある。
- ・合板工場向け荷動、価格が戻ってきますので、好調な引き合いのある土木仮設用杭丸太と共に出荷を増やす計画である。
- ・合板用は価格が合わないため出荷は減少している。パルプ材は低質材搬出補助金で出荷量は増加してくる。
- ・パルプ材がバイオマス工場へ流れていることもあり、製紙向けは減少。
- ・9月以降徐々に戻り始め現在はA、C、D材は例年並みにもどりつつある。

(3) 木材製品出荷量

・ 1～3月の製材・合板・チップ等木材製品の出荷量は、前年と同量か増加と見込む加工業者が多い。



主な意見

- ・ 出荷数量は昨年並。秋以降、原木の安定的な調達が出来ず新規需要に応えられない状態が生じている。
- ・ 1～3月期の需要は、回復傾向にあるが、原木入荷が不透明である為に前年度並みになると思われる。
- ・ 受注残がある。
- ・ 製紙会社の操業状況も改善してきた。よって、1～3月期も増加の見込みである。
- ・ 燃料用チップの出荷量が大幅増。

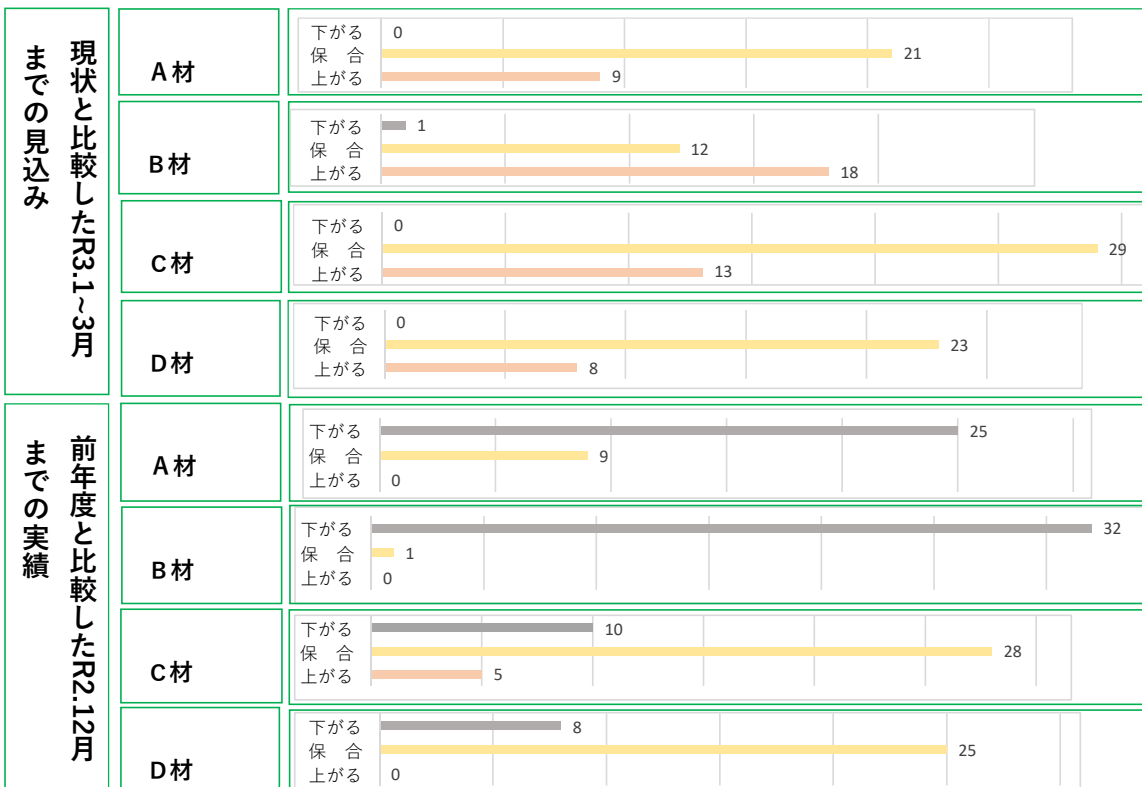
(4) 原木価格

・ 1～3月の原木価格は、保合または上がると見込む事業者が多い。

原木価格に実績と見込み

		前年度と比較したR2.12月			現状と比較したR3.1～3月			備考
		上がる	保合	下がる	上がる	保合	下がる	
全樹種	A材	0	9	25	9	21	0	
	B材	0	1	32	18	12	1	
	C材	5	28	10	13	29	0	
	D材	0	25	8	8	23	0	

※各欄の数値は流通業者からの回答数

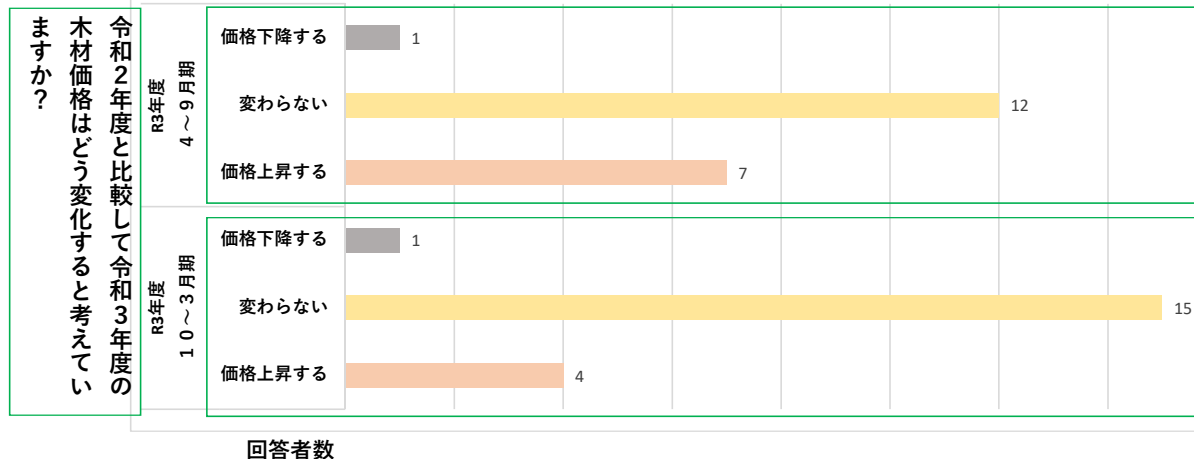




## (2) 木材価格

・来年度の木材価格は今年度と変わらないと見込む事業者が多いが、特に年度前半は上昇すると考える事業者も一定程度存在する。

### 令和3年度の木材価格の見込み



#### 主な意見

##### <加工業者>

- ・コロナ次第だが好転要素はあまりない。
- ・A材は下落、B材は維持、C材は上昇する可能性はあるがバイオマス発電所の安定経営の為に、値下げもあり得る。
- ・バイオマス発電施設に近い地域はC材の奪い合いになっている現状。
- ・コロナ禍による価格が下がったものが、回復するものと思われる。

##### <流通業者>

- ・製品価格が上がっていない状況から原木も上がらないと予想している。
- ・4～9月は原木供給量が増える見込みのため、供給過多になり価格が下落すると考える。
- ・R2年度が素材の無いもの高で価格上昇、出荷が揃えば価格も安定するため、R3年度後半はR2年度に比べて価格は降下すると予想。
- ・R3年1月～3月にある程度の持ち直しを見込むが、4月からは大きな動きは期待できない。
- ・夏までは現状と変わらず、秋以降需要の回復と価格の上昇を期待したい。
- ・パルプ材のみ価格は上昇していくと予想している。
- ・早期の回復に期待している。